

未来へつながる確かな安心をお届けします

肥後保険企画

2025年5月153号（毎月1回発行）

発行：肥後保険企画 株式会社 監修：渡辺 時貞

〒860-0843 熊本市中央区草葉町4-20 AIG 熊本ビル1F

Tel 096-342-6233 Fax 096-342-6390 URL <https://www.higohoken.co.jp>

定期便

check



©2010熊本県くまセン

日々の営業活動のなかで、ご縁をいただいた方々にお届けしています。

お忙しい毎日の“一息”としてお読みいただけたら幸いです。

意義な時間でした。
と大変勉強になり、有
考え方があるものだ
会社によって色々な
換で来社されました。
組みにについての情報交
弊社の健康経営の取
店の（株）B・Aさんが

先月、久留米市に本社のある保険代理

の経営哲学が如実に表れるところです。
するかを決めるのは社長です。そこは社長

得られません。

業は、高い賃金を出さなければ良い人材は

と、知名度がなくブランド力もない中小企

件費こそ、上げることを目標にすべきだと

はあります。

もありません。

と考えると、費用である人件費を抑えたく

で「人件費IIコスト」と考えがちです。

と考えると、費用である人件費を抑えたく

もありません。

と考えると、費用である人件費を抑えたく

もありません。

と考えると、費用である人件費を抑えたく

もありません。

と考えると、費用である人件費を抑えたく

もありません。

と考えると、費用である人件費を抑えたく

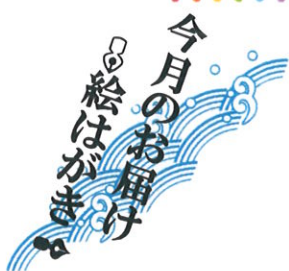
もありません。

いつも

ありがとうございます



エントランスでの記念撮影



手書きなので
枚数に限りはありますが、
絵はがきをお届けしています。



生命保険お役立ち一口情報

高齢化が進むにつれ、死亡時のリスクだけではなく、長生きすることに対する備えも必要となってきます。

特に、介護状態となった場合、家族に心身の負担を求めるだけでなく、介護をする人が仕事を辞めたりと、経済的な負担がのしかかることも想定されます。

そこで、介護状態となった場合に、給付金が受け取れるというのが介護保険です。

加入を検討するのは50～60代の方が多く、受け取る給付金は、介護状態と認定されたら、一時金として受け取るものや、年金として毎年受け取れるものもあります。

生命保険会社の介護保険だけでなく、国としても介護保険制度があり、要介護状態となったら支援が受けられます。



改正育児・介護休業法 子育てと仕事の両立後押し



育児・介護休業法は、子育てや介護などによる離職を防ぎ、希望に応じて男女とも仕事と育児・介護を両立できるようにするために施行されました。

4月から段階的に施行される改正育児・介護休業法では、事業主は3歳未満の子どもを育てる働き手のためにテレワーク環境を整えるのが努力義務となります。

これまで3歳未満の子供を持つ人だけが対象だった

「残業免除」は小学校入学前まで期間が延びます。さらに、子どもが病気やけがをした際に取得できる「子の看護休暇」の対象範囲も広がります。また、男性の育休取得を促す措置も強化され、より多くの職場で男性が育休取得をため

らわなくてすむ環境づくりが求められるようになります。

10月施行の内容では、次の5つの講ずべき措置から2つ以上を選び取り組む必要があり、3歳から小学校就学前の子どもを育てる人はそのうち1つを選んで利用できます。①フレックスタイム制などの導入②月に10日以上テレワークなど③保育施設の設置運営など④年に10日以上取得できる養育両立支援休暇の付与⑤短時間勤務制度。

働き手不足が深刻な職場が目立ち、子育て中の人々が休む場合に支える同僚の負担も無視できなくなっています。とはいえ、育児と仕事を両立できる環境を整えることは人材確保の観点からも非常に重要です。



肥後保険登山倶楽部

こんにちは、登山倶楽部の萩尾です。今回は九州に日本百名山が5つありますが、その一つの祖母山へ登ってきました。

祖母山は熊本県と大分県と宮崎県にまたがる祖母・傾山国定公園の一部にあります。たくさんの登山口のなかから、この日は神原登山口(竹田市)から登りました。この登山道は最初は沢沿いを歩き心地よいのですが、途中からは一気に標高差1000m超を山頂まで登りあがりますのでそこそこ体力を使います。

山頂は360°の絶景で阿蘇、くじゅう、由布岳などの山々が一望できます。かつて祖母山は鶴見岳に恋をしていましたが、鶴見岳は優しく強い由布岳と恋仲になり、ショックを受けた祖母山は南に引きさがりその時の涙が溜まったのが志高湖だそうです。おもしろい神話ですね。



祖母山頂

ウェルビーイング推進事務局より



くまもと健康企業会令和6年度定例会に参加してきました。健康経営の質の向上を目指す企業同士で集まり、企業間の垣根を越えて、取り組みの好事例等を共有する会合です。

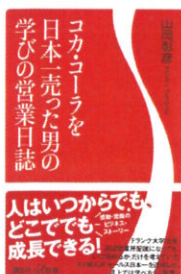
今回のテーマは「メンタルヘルス不調者の職場復帰支援」でした。45社が9グループに分かれ、テーマについて各自の考えを大きな模造紙上に記載し話合います。その後、また違うテーブルに3度シャッフルして他企業と意見交換しました。

こういった形式をワールドカフェといって、お菓子や紅茶をいただきながら、リラックスして自由に意見を言い、様々な視点からアイデアや気づきを得ることができました。不調者を出さないことが前提ですが、従業員が安心できる職場作りを行うために大切な知識を習得できたと思います。



尾池講師と一緒に

コカ・コーラを日本一売った男の学びの営業日誌



載でした。

結果、全国セールスフォースコンテストで第1位となり、ポトラ社から日本コカ・コーラへの初の出向者となりました。「営業の仕事は自分の成長を最も実感できる仕事」と著者。営業の魅力が満載でした。

そこでは、課題を抽出し、解決に向けた目標を立て、具体的な戦術に基づいて改善していくことを徹底的に教え込まれます。

今では考えられない激務で、入社3か月後には50人いた同期が半分になったそうです。最初は「いつ辞めるか」だけを考えていたダメ営業でしたが、転機をもたらしたのが、フードサービス部門への異動でした。

著者である山岡氏は、地方のFラン大学出身で、四国コカ・コーラボトリング(ポトラ社)に入社し、ルート営業マンになります。

乱読コーナー